

サーバーエンジニアって 何してるの？

リアルな仕事内容を大公開



サーバーエンジニアとは

サーバーエンジニアとは「サーバー」というコンピューターを管理・運用する職業です。

そのため、サーバーに関する様々な知識が必要です。

サーバーとは、様々な情報を保管していて、個々の利用者からのリクエストを受信すると、適切なデータを返す機能を持つコンピューターのことを指します。

ネットワークエンジニアとの違い

	サーバーエンジニア	ネットワークエンジニア
主な役割	サーバーの設計・構築、運用 保守	サーバー上でアプリを動かすために必要な通信設定
担当領域	インフラ領域 (サーバー基盤)	インフラ領域 (ネットワーク基盤)

サーバーエンジニアの仕事内容

サーバーエンジニアの業務は大きく分けると以下の3つです。

設計	<p>クライアントに要望をヒアリングし、そのニーズに基づいた提案を実施して、最適なサーバーを設計する業務です。以下の内容をヒアリングして、どのようなサーバーにするか決めていきます。</p>
構築	<p>「サーバーの設計」段階で作られた設計書に基づいて、実際にサーバーをセットアップする工程です。ここではOSのインストール、必要なソフトウェアの導入や初期設定など、様々な業務を担当します。物理的なサーバーを使用する場合は、専用の棚に設置する「ラッキング」という作業も必要です。サーバーの構築後には、稼働テストを行い正常に作動するか確認します。この工程で異常を見逃すと、後にトラブル発生の原因となるため、細かな配慮が求められる重要な業務です。</p>
運用・保守	<p>「構築」段階で完成したサーバーが安定して稼働する様に、日々の運用と保守を行う業務です。比較的マニュアル化が進んでいるため、新人や未経験者からサーバーエンジニアになった場合は、この業務から任されることが多いです。経験が少くとも担当できる工程ではありますが、トラブルが起きた際に迅速な対応を求められるため、サーバーの安定稼働には重要な業務です。この業務で経験を積み「構築」「設計」といった上流工程の業務へとキャリアアップしていきます。</p>

サーバーエンジニアに求められること

サーバーエンジニアには、IT分野の幅広い知識やスキルが必要です。

また、「Windows」「Linux」などのサーバーOSに関する基本的な知識やスキルも求められます。

「サーバーOS」とは、コンピューターの中核を担うもので、司令塔として他の機器に指示出しを行う役割を果たす部分です。

具体的には、以下の知識やスキルが必要です。

サーバーOSの知識・スキル

- Windows Server
- Linuxの操作と設定

ネットワークの知識・スキル

- TCP/IP
- DNS
- DHCP
- VPN

クラウドに関する知識・スキル

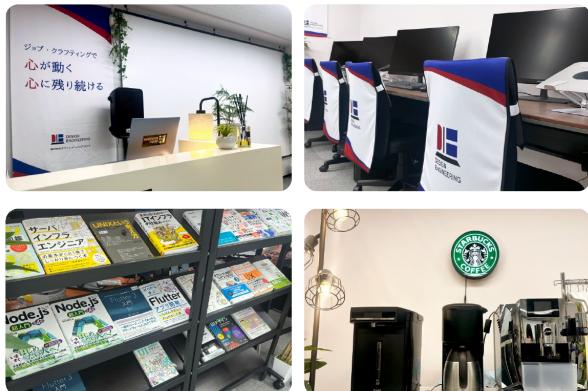
- AWS
- Azure
- GCPなど

セキュリティの知識・スキル

- ファイアウォール
- アクセス権限
- 暗号化
- 脆弱性対応など



LINE公式アカウントにて
最新情報配信中！



無料で自由に使える
学習＆カフェスペース開放中！

変化を楽しみ、自分らしく未来へ。

デザインエンジニアリングは、
挑戦するエンジニアの一歩を応援する会社です。

“好き”や“ワクワク”をそのままキャリアに変え、
自分の可能性を信じて前へ進む人には、無限のチャンスが広がっています。

失敗も学びに変え、仲間と共に笑い、共に成長しながら、
毎日が少しずつ楽しくなる未来へ。
未経験でも大丈夫。あなたの最初の一歩を、心からお待ちしています！

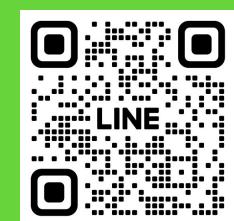


イベント・セミナー開催中！

カジュアル面談・エントリーは
こちらから！



URL: <https://design-engineering.jp/>



LINE ID:@749gaovb